

タイ・バンコクにおける P&R 駐車場の利用実態

日本大学大学院	学生会員	○池下 英典
日本大学理工学部	正 会 員	福田 敦
日本大学理工学部	正 会 員	有村 幹治
日本大学理工学部	学生会員	千葉 正哉
日本大学大学院	学生会員	Isaret Rattanapisit

1. はじめに

タイの首都バンコクでは、1980 年後半から自動車利用の増加に伴い、定常的に都市域全域で深刻な交通渋滞が発生するようになった。この状況に対応するために、タイ政府では首都高速道路や環状道路などの道路整備を進めてきたが、かえって自動車利用を増加させ、さらなる市街地の拡大を促す結果となった。

そこで、この問題を抜本的に解決するために、軌道系公共交通機関の整備が進められ、1999 年にはスカイトレイン(BTS)が、2004 年には地下鉄(MRT)が開業したが、何れの路線も都心内部に限定されているため、郊外からの自動車やバスによる通勤者の軌道系交通機関への転換を図ることができず、渋滞解決には役立たなかった。これに対して、軌道系公共交通機関の駅に計画的に駐車場を整備し、パークアンドライド (P&R) を推進して自動車からの転換を図ることが検討されている。

そこで、タイ・バンコクで P&R 推進の可能性を検討するための基礎として、既に一部利用が進んでいる P&R の利用実態を把握することを目的とする。

2. P&R 駐車場の利用実態の把握

(1) P&R 駐車場

タイ・バンコクにおける P&R 駐車場は、Mass Rapid Transit Authority of Thailand (MRTA) によって 2004 年 8 月より運営されており、現在 8 カ所の P&R 駐車場を MRT 沿線の 7 駅に有している。

今回の P&R の利用実態調査は、8 カ所の P&R 駐車場のうち、図-1 に示す Thailand Cultural Centre 駅、LatPhrao 駅、そして Chatuchak Park 駅に設置された 3 駐車場を対象とした。表-1 に示す通り、Thailand Cultural

連絡先 〒274-8501 千葉県船橋市習志野台 7-24-1

日本大学理工学部社会交通工学科 交通システム研究室

TEL 047-469-5355 E-mail : h.ikeshita@hotmail.co.jp

Centre 駅は 2 カ所に駐車場があり合計で約 350 台、LatPhrao 駅には約 2500 台、Chatuchak Park 駅は約 1300 台の収容が可能である。また利用料金も、MRT の利用者とそれ以外は区別されており、P&R を意識した駐車場の運営を行っている。



図-1 調査対象地点図

表-1 P&R 駐車場の基本情報

P&R駐車場	Thailand Cultural Centre駅	LatPhrao駅	Chatuchak Park駅
駐車可能台数	立体駐車場：200 (台) 平面駐車場：35 (台) 106 (台)	2200 (台)	1250 (台)
運用時間	5:00～1:00 (運用時間外の駐車不可)		
駐車場 利用料金	時間 料金	最初の15分は無料 MRT利用者：10B/2時間 その他：30B/時間	無料
	月極 料金	1000B/月 (MRT利用者のみ)	無料

(2) 調査方法

2009 年 11 月 23 日午前、前述の 3 駅における駐車場において、P&R と MRT、もしくは P&R と BTS の組み合わせにより移動する利用者を対象にインタビュー形式のアンケート調査を実施した。アンケート内容は、出発地、乗車駅、降車駅、目的地、イグレス、現在の P&R を利用するトリップと比較して、仮に駐車場と MRT・RTS が無い場合のトリップについて尋ねる設問で構成した。また、P&R 駐車場の利用頻度、MRT や BTS の利用頻度、そして基本属性（性別、年齢、車やバイク免許の有無、収入、職業など）について尋ねた。

3. 調査結果

P&R 駐車場における交通モード選択のアンケートは、合計で 99 サンプルを配布・回収し、そのうち有効回答数は 66 サンプルであった。

調査の結果、図－2 に示す通り、駐車場利用者のうち Thailand Cultural Centre 駅、LatPhrao 駅の約 6 割が、また Chatuchuck Park 駅の約 9 割が、週 5 回以上の頻度で利用していることが分かった。また図－3 に示す利用者の職業の割合は、いずれの駅でも約 7 割から約 8 割が会社員と学生であったため、通勤、通学目的で P&R 駐車場を利用していると推測できる。

イグレスの利用交通手段については、図－4 に示す割合となった。タクシーなどを利用する人が一部いるものの、大部分は自転車もしくは徒歩を選択している。目的地である会社や学校が駅に近く立地している人々が、P&R 駐車場を利用していると推測できる。

次に P&R 駐車場利用者が、現在の移動方法と MRT もしくは BTS が無い場合の移動方法について分析した結果、図－5 に示すように、多くの利用者が、乗用車やバスといった道路交通手段を使うとしている。特に Chatuchuck Park 駅においては、乗用車を利用すると答えた人が約 8 割を占めた。

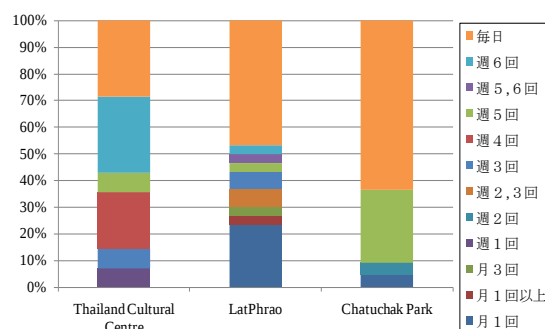
以上の結果より、小サンプルながら P&R 駐車場と MRT・BTS の組み合わせによる利用者は、通勤・通学目的で利用しており、目的地までのイグレスにおけるアクセス手段が徒歩・自転車である層が主であると推測できる。

4. おわりに

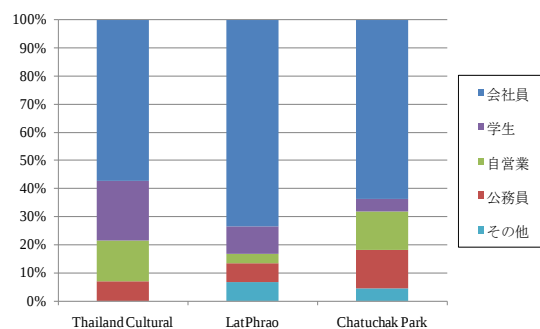
本研究では、タイ・バンコクにおける P&R の利用実態を明らかにするためにアンケート調査を実施した。その結果、P&R 駐車場の利用者は、利用頻度が高く、その多くが、会社員や学生による通勤・通学目的であり、イグレスの交通手段は主に自転車もしくは徒歩であることが分かった。また P&R 駐車場が利用できない場合は、自動車やバスの利用により移動することが分かった。今後、P&R 駐車場の一層の整備されることにより、イグレスでの移動が徒歩・自転車で済む通勤通学トリップが P&R 駐車場の利用に転換する可能性が示唆された。

今後の課題としては、今回の調査はサンプル数が少なく、より適正な規模の調査を実施することは勿論であるが、同時に、P&R 駐車場の適正な価格やイグレス

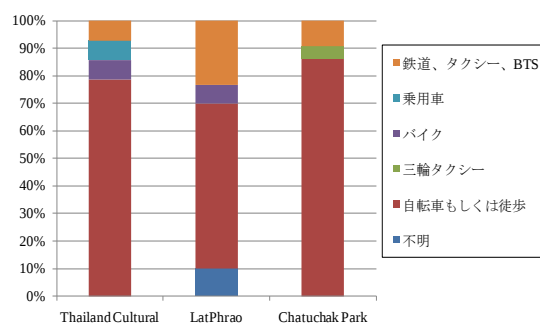
交通手段等のサービスレベルを尋ね、それらを変数とした P&R 駐車場利用選択モデルを構築することが挙げられる。



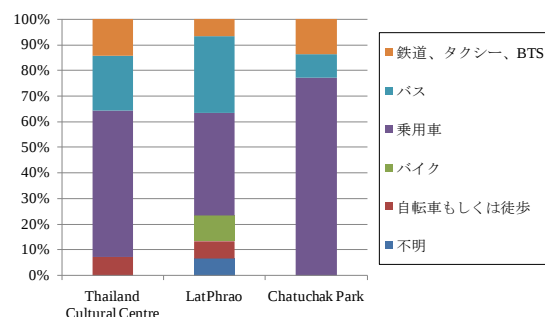
図－2 各 P&R 駐車場の利用頻度



図－3 各 P&R 駐車場利用者の職業



図－4 各 P&R 駐車場利用者のイグレス



図－5 各 P&R 駐車場の MRT が無い場合の手段
参考資料

- 1) Mass Rapid Transit Authority of Thailand,
<http://www.bangkokmetro.co.th/index.aspx?Lang=En>